

令和 7 年 12 月 26 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 4 2 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 農業経営発展計画制度に関するお問合せが増えています！
2. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！
3. オンラインスクール 寺坂農園に学ぶ 農家のための共感マーケティング講座 体験講座申込受付中
4. （みどり戦略技術紹介）退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ（4 品種）
5. 「令和 7 年度グリーンな栽培体系の取組報告会」を開催します！
6. 令和 7 年度第 2 回国内肥料資源利用拡大アワード表彰式のご案内
7. （園芸農家の皆様）マルハナバチ等を利用しませんか？
8. 「2025 年農業技術 10 大ニュース」を選定しました！
9. 農業経営計画策定支援システムの開発とスマート農業経営指標の公開
10. 乾田直播栽培技術標準作業手順書 新たな地域版 6 編を公開
11. 鋼材によるため池堤体補強工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開
12. ブロッコリーの大型花蕾生産技術で労働生産性の向上を実証

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 農業経営発展計画制度に関するお問合せが増えています！】

農地所有適格法人が農林水産大臣の認定により議決権要件の特例を受けられる、農業経営発展計画制度が本年 4 月から始まっています。

この制度の活用により、農地所有適格法人は農業関係者による経営の決定権を確保しつつ、自社の議決権の最大 3 分の 2 未満まで出資を受けることが可能になります。

既に多数の農地所有適格法人や食品事業者からお問合せをいただいておりますが、御関心や御相談等あれば、引き続き下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

◇ 農業経営発展計画制度とは（農林水産省 web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/241017.html>

◇ 農地所有適格法人とは（農林水産省 web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地調整グループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【2．農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！】

農地所有適格法人をはじめ、農地を所有・貸借する法人は、農地法の規定により、毎事業年度の終了後から3ヶ月以内に、農業委員会へ事業状況等の報告をすることが義務づけられています。

特に、農地所有適格法人が当該報告を怠った場合、30万円以下の過料に処される可能性があります。

事業年度終了後は、農業委員会への当該報告を毎年必ず行うよう御注意を！

◇ 農地の権利を持つ法人の報告義務についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地調整グループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【3．オンラインスクール 寺坂農園に学ぶ 農家のための共感マーケティング講座 体験講座申込受付中】

一般社団法人アグリフューチャージャパンが運営する AFJ 日本農業経営大学校では、日本の農業の未来を担う経営者から若手農業者まで、すべての農業者のためのオンラインスクールを開設しています。

今回ご紹介する「共感マーケティング講座」は、SNS・DM・接客といったさまざまな顧客接点を戦略的に活用し、お客様の共感を生み、育て、リピーターへとつなげていくための実践ノウハウを学ぶオンライン講座です。

農園のファンづくりを実現したい経営者や、広報・お客様対応担当の方にもおすすめの内容です。

■ 体験講座のご案内

本講座では、講座の内容を体験いただけるオンライン講座を実施いたします。

(テーマ)

「売り込まなくても売れる！農家のための共感マーケティング講座 ～あなたの思いが、ちゃんと届く発信とは？～」

○ 2026年1月13日(火)～15日(木)、各回12:30～13:30のうち、好きな日にちにご受講いただけます。

○ 受講料：3,300円(税込)

○ 申込方法：2026年1月9日(金)12:00までに下記よりお申し込みください。

さらに詳しく学びたい方は、体験講座受講後に計4回の本体講座にお申込みいただけます。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら ((一社) アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP)

→ https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/empathy_marketing/

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL : application-online@afj.or.jp

TEL : 03-5781-3750

【4. (みどり戦略技術紹介) 退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ (4品種)】

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ (4品種) についてです。

メロン産地では近年、退緑黄化病が発生し大きな問題となっています。この度、退緑黄化病に抵抗性があり、果肉が緑色で、果皮にネットがあるアールス系メロン「アールスアポロン」シリーズ (4品種) が開発されました。4つの品種でさまざまな作型・収穫時期に対応できます。

また退緑黄化病に感染しても果実重や糖度が低下しにくく、被害の軽減が期待されます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：露地野菜) (PDF：7,798KB) p. 26
退緑黄化病抵抗性メロン「アールスアポロン」シリーズ4品種 (農林水産省 Web)

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/03_midori_catalog5_vege.pdf#page=26

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：推進班）

TEL：03-3502-3162（直通）

【5.「令和7年度グリーンな栽培体系の取組報告会」を開催します！】

「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する技術」を取り入れた、グリーンな栽培体系について学べる報告会を、令和8年1月29日（木）にオンラインで開催します。

本報告会では、農研機構及び農林水産省による「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた施策や取組に関する基調講演に加え、全国6地区の水稻、野菜、花き、果樹におけるグリーンな栽培体系の事例発表を行います。

グリーンな栽培体系への転換を進める現場の実践例を一度に聞ける、貴重な機会です。ぜひご参加いただき、今後の生産現場での参考にしてください。

■ 開催日時・場所

令和8年1月29日（木）10時30分～15時30分 オンライン（Microsoft Teams）

■ 参加申込方法

下記 URL にアクセスし、令和8年1月26日（月）までに必要項目を記入してお申し込みください。令和8年1月28日（水）に参加用 URL を送付します。

◇ イベントの詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/events.html>

◇ 参加のお申し込みはこちら（Microsoft Forms）

→ <https://forms.office.com/r/fs0NXuZzVM>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局技術普及課（担当：藤路、鹿嶋）

電話：03-6744-2107

【6. 令和7年度第2回国産肥料資源利用拡大アワード表彰式のご案内】

国内肥料資源利用拡大アワードとは、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料へ積極的に転換を図る取組や地域で効率的に資源循環を推進する取組をおこなっている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者を表彰するものです。

令和7年度の当アワードについては、厳正な審査を経て、この度、12件（以下、「受賞者について」を参照）が表彰されることとなりました。表彰式は、令和8年1月21日（水）15時より、全国町村会館（東京都千代田区永田町）にて開催されます。当日は、「農林水産省 農産局長賞」「農林水産省 畜産局長賞」「国土交通省 上下水道審議官賞」の3事業者の表彰状授与及び事例発表を予定しています。

来場を希望される方は、以下HPより参加登録をお願いします（締切：1月14日（水）まで）。

日時：令和8年1月21日（水）15時00分～17時40分

場所：全国町村会館 ホールA（東京都千代田区永田町1-11-35）

内容：表彰状の授与、受賞事例の発表等

◇ 「令和7年度第2回国産肥料資源利用拡大アワード」受賞者についてはこちら（（一社）日本有機資源協会 Web）

→ <https://www.jora.jp/activity/hiryo/2025award/winner/>

◇ 表彰式のご案内、参加登録についてはこちら（（一社）日本有機資源協会 Web）

→ <https://www.jora.jp/news/28967/>

◇ お問い合わせ先

（一社）日本有機資源協会

TEL：03-3297-5618

農林水産省農産局技術普及課（担当：島、沼澤）

TEL：03-6744-2107（直通）

【7.（園芸農家の皆様）マルハナバチ等を利用しませんか？】

ミツバチは、いちご等の園芸作物の生産における花粉交配の手段として用いられ、安定的

な生産に欠かせないものとなっています。

しかし、夏の猛暑やダニ等により、「花粉交配用に供給されるミツバチが不足する可能性がある」と養蜂家団体から今年の秋頃に発信がありました。

園芸農家の皆様には、安定的な園芸作物の生産に向けて、以下の取組を実施していただきますようお願いいたします。

＜園芸農家の皆様に取り組んでいただきたいこと＞

(1) 従前よりも早期のミツバチの注文

※ 特に来年の春頃にミツバチを授粉に利用する作物については、従前よりも早期に、ミツバチの購入可否を確認してください。

(2) 注文後の養蜂家等への供給見通しの定期的な確認

※ ミツバチの状態は刻一刻と変化しており、必要量を確保できない場合もあるため、注文後も定期的に確認をお願いします。

※ ミツバチを供給できないとの連絡があった場合は、各都道府県の普及センター等に情報提供をお願いします（対応策等の相談が可能です）。

(3) ハウス内におけるミツバチの適切な管理（農薬、温度、給餌等）

※ 管理方法については、養蜂家や卸等の購入元に確認ください。

(4) ミツバチ以外の昆虫（マルハナバチやヒロズキンバエ）の利用

※ 初めて使用する場合は、使い方等を購入元に確認ください。

◇ 各花粉交配用昆虫の利用マニュアルや販売店等についてはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gijutu/mitubati/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局園芸作物課（担当：施設園芸対策班）

TEL：03-3593-6496（直通）

8. 「2025 年農業技術 10 大ニュース」を選定しました！

農林水産省は、毎年、民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人が公表した農林水産分野の研究成果のうち、新聞記事として取り上げられたものを対象に、内容の優秀さと社会的関心の高さを基準として、農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など 30 社加盟）の会員投票により、注目すべき 10 課題を「農業技術 10 大ニュース」として選定しています。

今般、2025 年の 1 年間に公表された農林水産分野の研究成果を対象として、「2025 年農業

技術 10 大ニュース」を選定しました。水田のしぶとい雑草防除法から話題の新品種、先進的スマート技術まで、業界で話題となった研究成果をぜひご覧ください！

◇ プレスリリースはこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/251219.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【9. 農業経営計画策定支援システムの開発とスマート農業経営指標の公開】

農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、水田作におけるスマート農業導入効果を可視化するための「農業経営計画策定支援システム」を開発し、その一部を公開しました。

このシステムは、スマート農業実証プロジェクトで得られたデータをもとに構築した農業経営指標と、それを活用してシミュレーションを行う Web アプリで構成されています。スマート農業を導入した効果を簡易にシミュレーションすることができます。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/172799.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【10. 乾田直播栽培技術標準作業手順書 新たな地域版 6 編を公開】

農研機構は、東北地方における水稻乾田直播栽培技術のさらなる普及を目的として、新たに乾田直播栽培技術標準作業手順書「宮城県石巻地域」、「宮城県大崎地域」、「宮城県美里・涌谷・大崎（鹿島台・松山・田尻等）地域」、「岩手県花北・奥州地域」、「秋田県大潟村」、「山形県庄内地域」をウェブサイトで公開しました。

これらは、各地域に特有の気象・土壌条件や経営体が保有する機械に合わせて水稻乾田直播栽培技術をまとめたものです。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/171169.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【11. 鋼材によるため池堤体補強工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開】

農研機構は、高知大学、日本製鉄株式会社および株式会社エイト日本技術開発との共同研究の成果をとりまとめ、「鋼材によるため池堤体補強工法設計・施工マニュアル」を 2025 年 11 月 14 日ウェブサイトで公開しました。

このマニュアルは、鋼矢板や鋼管をため池の堤体内に打設して堤体の遮水性能や耐震性能を向上させる工法について、設計手順および施工方法等を一般化しています。

このマニュアルを使用することで、効率的に「鋼矢板二重式工法」の設計・施工が可能となります。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/172405.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【12. ブロッコリーの大型花蕾生産技術で労働生産性の向上を実証】

農研機構は、加工・業務用ブロッコリーの「大型花蕾生産技術」に適した品種を作型別に

選定し、関東以西の主な産地 7 県において栽培試験を行いました。その結果、全国平均の約 3 倍の収量が得られることを確認しました。さらに、ほ場内の収穫可能な全てのブロッコリーを一斉に収穫することで、総労働時間を半減できることも明らかにしました。

また、本技術の作業手順をまとめた「ブロッコリー大型花蕾生産技術標準作業手順書(SOP)」を公開しました。本技術を全国に普及することにより、輸入品に依存している加工・業務用ブロッコリーの国産化が進み、国内農業の振興と食料自給率の向上に貢献することが期待されます。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/172472.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

◆◆◆編集後記◆◆◆

都会では、街全体がイルミネーションで彩られる賑やかな時期になりました。私の地元は山間の農村で普段は街灯もまばらな寂しい地域ですが、それでもこの時期だけは数軒のご家庭で趣向を凝らした電飾がみられ、暗闇の中だからこそより映える幻想的な空間を楽しませていただいています。今年も残すところあとわずかですが、一年間のご愛読に心より感謝申し上げますとともに、今後も皆さまに役立つ情報の発信に尽力できればと考えています。寒い日が続きますが、体調管理に十分ご留意いただき良い年末年始をお過ごしいただければ幸いです。

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日　：毎月1回発行

○ 発行元　：農林水産省経営局経営政策課　担当：大庭

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

